

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大船渡市			代表者名	洲上 清
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画政策部デジタル戦略課	連絡先電話番号	0192-27-3111
担当者役職	係長	担当者氏名	及川慎一郎	連絡先E-mail	
住所	O22-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail			

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	大船渡市DXセミナー
概要	①市職員向けのDXセミナーの開催 ②市内事業者及び市民向けのDXセミナーの開催		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) スマートシティ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	305	令和7年1月24日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年12月10日	フォローアップ(実地)	9時30分	11時30分	
			活動時間(分)	120	
2-2. 派遣場所	会場名	大船渡市役所	最寄駅	盛	
	所在地	岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員向けフォローアップ研修として、課長補佐級以下職員を対象に、主としてAI活用をはじめとするデジタル技術の可能性や、現場職員が当事者意識を持って課題に向き合いDXを推進していく必要性、行政が注力すべき業務に充てる時間を生み出すために生産性向上は必ず求められるものであることなど、市職員が自分ごととして取組を考える内容を中心に講演いただいた。生成AIの高度な活用の実演に当たっては、動画ファイルからの要約資料作成が短時間で可能であることなど、職員の関心を引くものを構成となっており、業務効率化に直結するAIツールの紹介もいただいたことで、職員からの意欲的な反応もあるなどDX推進に係る意識醸成を図ることができた。
アドバイザーへの要望事項	当市における事業者・市民・行政のDXに、引き続きお力添えをいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	49人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	49			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	・市内のDX推進は徐々に進んでいるが、デジタル化そのものがDXであるという認識を持つ職員も多く、具体的な手段や目指すべき市の姿を明確にできていない状況にある。職員が普段からの業務の改善、見直しのための意識醸成を図る必要がある。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	・デジタル田園都市国家構想の目的を理解し、目的である市民のウェルビーイング向上・地域課題の解決に取り組むため、限られた資源を活かす手段としてDXが必要であることを認識し、全職員が当事者としてその意識を備えた体制につなげる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 本研修では、まずはAI活用の可能性と重要性として、様々な事業・業務での活用、アイデア出しや要約だけでなく政策のブラッシュアップ、課題解決の検討などにも非常に有効なものであることなどを講演いただいた。また、高齢者のデジタルデバインドに関しては当事者をサポートする側のデジタルへの理解をまず進めなければならないこと、今後の地域社会経済を持続可能なものとするためシェアリングエコノミーの取組が重要であることなどのほか、職員同士での意見交換時間を設けることで、より考える研修の場としていただいた。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 実務担当者級の職員であってもこれまで生成AI等の活用イメージがない職員が多かった中で、動画情報要約や計画資料分析のデモンストレーションをはじめ、業務でのAIの活用可能性を職員が実感することができる内容だったことにより、今後の各所属業務への取組につながる効果があった。また、住民との関わり、まちづくりの視点から現状の取組を見直し、自身が何をどのように進めていくべきかをあらためて考える機会となった。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・特になし	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>研修参加職員からは自身の業務における活用検討や実践への意欲など積極的な反応が多く、全庁へのDX推進を図る上で有益なセミナーであった。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>今年度をもって地域情報化アドバイザー派遣事業の活用は終了予定だが、庁内DX人材育成は継続して独自に取り組む計画である。</p> <p>高齢化社会においても市民全員がデジタルの恩恵を受けられ、住み続けられるまちづくりを実現する。</p>	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

